

# 韓国製自動巻き上げ機の 効果確認試験

JAあさひかわ

北野 道博



①4.2撮影 制御盤



②4.2撮影 駆動機・ガイド

## 試験目的

輸入自動巻上装置の実用性確認試験

## 試験作物 及び品種

水稻  
ゆめぴりか、ななつぼし、きらら397

## 試験資材 及び数量(規格)

WIND UP ハウス4棟分(制御盤4台、駆動機8台)

## 栽培方法

播種日

4月15日

定植日

5月20日

## 資材使用期間

4月15日～6月上旬

## 試験区面積

約600坪



## 試験結果

### (1)作業性について(慣行品との比較)

設置作業は、マニュアル通りに行い、特に難しい点はなかった。

### (2)作物の生育状況または、収穫への影響

手動に比べると温度管理が行き渡り、苗の生育状況も良好だった。

### (3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】：巻上作業が軽減され、省力化となる。

【問題点】：手動の巻上機より費用がかかる。

## モニター感想

設置や使い方など問題なかった。しいて挙げるとすれば、プラグの差し込む向きにより巻上機の回転が逆になるのが当初わかりにくかったが、慣れると問題なかった。

自動巻上機により細かな温度管理ができたことと、手動で作業しなくてよい分、他の管理作業に時間を割くことができたため、例年より苗の生育状況は非常に良かった。

他メーカーの自動巻上機に比べ、安価であることも良い。

次年度4棟分の追加導入を検討したい。

## JA担当者の感想(購買課 佐藤氏)

他社品に比べ自動巻上機が安価である点や、苗の生育状況が良好な結果となったため、生産者も非常に満足しており、良かったと思う。

近年、1戸あたりの水稻面積は拡大傾向にあるため、育苗作業の時間が自動巻上機のような資材で省力化したいという生産者のニーズは増えていくと考えられる。

機会があれば、他の生産者にも推進していきたい。

## 今後の使用について

継続して使用したい。